

# 「こども・若者意見箱」に寄せられた意見の概要と県の対応方針等について

意見集計 期間：令和7年4月1日～令和7年10月31日

No.	意見を寄せた方 の属性	秋田県への意見の概要	ジャンル	県の対応方針等
1	はたら かた 働いている方	<p>県はこどもを増やしたいと言っていますが、支援が少なすぎます。</p> <p>私が住んでいる市では、第三子は保育料無償と言っていますが、実際は第一子が未就学でなければ対象になりませんし、所得制限もあり、年が離れている兄弟がいる場合は、何も対象なりません。働けば働くほど負担が増えるのはおかしいと思います。どうして一律無償化にできないのですか。</p> <p>秋田で子育てしていくたいと思える環境をしっかり作ってほしいです。こんな状態だと、子育て支援が手厚い県にどんどん人が出でいくのは仕方ないことだと思います。</p> <p>働いている世代がこどもを産んで育てていくことへの支援をしっかりしてほしいです。</p>		<p>●県では、保育料の経済的負担を軽減するため、0歳から就学前までの子どもの保育料・副食費への助成を行っています。特に、第一子から保育料助成を行っている都道府県は全国でも少なく、都道府県レベルでは全国トップクラスとなっています。</p> <p>御指摘のとおり、市町村によっては予算で保育料・副食費を所得制限なしで無償化しているところもありますが、財源的な問題から、全ての市町村で一律に実施することは難しい状況です。</p>
2	はたら かた 働いている方	<p>子育て中の主婦で、共働きをしており、来年度秋田にAターンする予定です。</p> <p>Instagram等で、秋田県は全国トップクラスの子育て支援を謳っていますが、県内では、他の市町村より明らかに支援が少ない市町村があります。保育園料や医療費の無償化を行っている市町村も全国に多数あるのに、なぜ進まない市町村があるのでしょうか。これで2人以上保育園に預ける家庭もありますので、保育園料を払うために働いているのか？と思ってしまいます。</p> <p>特に医療費については、医療機関ごとに1,000円の自己負担が発生しますが、全国では、高校まで無償にしている市町村が多いです。</p> <p>秋田に戻って子育てをしたいと考えている人もいると思いますので、ぜひ全国レベルの子育て支援をしていただきたいです。</p>	子育て	<p>●県では、市町村が実施する福祉医療制度に対して一部助成を行っており、0歳児と市町村民税所得割非課税世帯の子どもを除いて、被保険者負担額の半額（1,000円／1セプト上限）を負担しています。</p> <p>その上で、市町村によっては、少子化対策の一環として更なる上乗せを行い、無償化しているところもあります。</p> <p>●いずれの取組も、市町村が実施主体となっていますので、意見の内容を市町村に伝えます。</p>

No.	意見を寄せた方 の属性	秋田県への意見の概要	ジャンル	県の対応方針等
3	はたら 働いている方	<p>医療費が18歳までかかるないところに住んでおり、とてもありがたいと思っています が、現状の子育て支援だけでは、こどもは増えないと感じています。</p> <p>1歳までのおむつやミルク代の無償化、こどもを産んだら100万円単位で支援金を支給するなどといった、想像を超えるような政策をしない限り、こどもは増えないと思います。</p>	こそだ 子育て	<p>●県では、保育料や副食費助成に加え、妊婦に対し「あきた出産・子育て応援給付金（2万円）」を支給しているほか、市町村においても、工夫を凝らしながら、様々な経済的支援策を講じているところです。今後も、より実効性のある子育て支援施策の実施について、市町村と連携しながら検討していきます。</p>
4	はたら 働いている方	<p>「秋田県は婚姻率が低いから人口減少や少子高齢化が止まらない」と話している人がおり、残念に感じています。</p> <p>秋田には、働く場所や子育てに優しい環境、若者が残りたいと思う魅力がないから、秋田を出していくのだと思います。だから結婚するような若者がいなくなります。</p>	けっこん 結婚	<p>●若い世代の方々が、秋田に住み続けたいと思っていただけるような施策を行い、若者の県内回帰と県外流出の抑制につなげていきます。</p>
5	はたら 働いている方	<p>医療について、医師も看護師も不足していますが、県として何か対策してくれているのか疑問を感じています。現場は疲弊しています。</p>	いりょう 医療	<p>●県としては、医師や看護職員等の確保について、医療機関や大学、関係機関と意見交換をしながら、学生向けに一定年数県内で働けば返還が免除される修学資金の貸与や、医療従事者の離職防止・スキルアップのための研修の実施等により努めているところであります。引き続き有効な対策を考えて実施していきます。</p>
6	はたら 働いていない方	<p>雪国なのに、こどもが身体を使える屋内遊び場が少ないです。</p> <p>車移動が主な地域なのに、施設に併設されている駐車場の台数が少ないです。</p> <p>こどもが思いっきり遊べる施設を、有料でも良いので作ってほしいです。</p>	あそ 遊び場	<p>●遊び場は、県内の各地域に魅力的な遊び場があることが望ましいと考えています。</p> <p>市町村と意見交換を行いながら、地域性に応じた遊び場の整備が進むよう、市町村に働きかけていきます。</p>
7	はたら 働いている方	<p>子育て世代に刺さるような、こどももおとなも一日中いても遊び飽きない施設を作る、もしくは誘致する必要を強く感じます。隣の山形県には、魅力的な施設がかなりあります。</p>		

No.	意見を寄せた方 の属性	秋田県への意見の概要	ジャンル	県の対応方針等
8	はたら 働いていない方	<p>児童会館と県立図書館、生涯 学習センターを合わせて、複合施設にしてはどうでしょうか。</p> <p>決まった年代に固執せず、幅広い世代の利用ができると思います。</p> <p>「まなぶ・あそぶ」を同時にできる場は、県民にとって貴重な施設になると思います。</p>	けんゆう し せつ 県有施設	<p>●児童会館については、現在、「児童会館の機能等の在り方検討委員会」で検討が進められており、今後、遊び場や子ども劇場 等の機能の在り方に関する意見を取りまとめる予定となっています。</p> <p>●県立図書館や生涯 学習センターを含む社会教育 施設については、今後、大規模修繕や集約・複合化等の検討をしていきます。</p>
9	はたら 働いている方	<p>学力 調査では全国的な子どもの学力 低下が危惧されており、首都圏からの若者回帰のために、今が秋田の学習 環境を含めた子育て環境の良さをアピールするチャンスだと思います。</p> <p>そこで提案したいのが「読書習慣の県民への更なる浸透」です。読書習慣がある家庭における子どもの学力は高い傾向にあるようです。県では読書条例を定め、読書イベントも開催されていますが、日常的に図書館を利用するハードルを下げる取組も有効かと思います。</p> <p>世界最高の図書館と称されるフィンランドのOodiでは、子どもが声を出しても良いそうです。「子どもと遊ぶために図書館に行く」という文化が定着すれば、「近場に子どものが遊び場が少ない」といった要望にも応えられると思います。</p> <p>例えば、県の中心である県庁の一部を、県民が本に触れるスペースとして整備・開放するなど、県全体が読書に親しむ雰囲気になってほしいと思います。</p>	どくしょ 読書	<p>●秋田県こども計画では、「施策の推進方向1 こども・若者が健やかに成長できる環境整備」「施策9 個性と創造力を育む教育の推進」の中で、読書活動の推進に取り組むこととしています。</p> <p>●県立図書館では、毎月第1・3日曜日の午後を「すこやか読書応援タイム」として、こども連れの利用者が気兼ねなく過ごせる時間としていますので、これからも周知に努めています。</p> <p>●市町村立図書館の利用方法については、各市町村の読書業務担当者との協議会を通じて情報 共有していきます。</p> <p>●県の中心部での本に触れるスペースについては、県庁の近隣に県立図書館がありますので、まずはそちらの利用を促すとともに、読書に親しむ環境づくりの取組を推進していきます。</p>

No.	意見を寄せた方 の属性	秋田県への意見の概要	ジャンル	県の対応方針等
10	はたら かた 働いている方	低所得者向けの制度も大事ですが、中間層の方にも普段の買い物時に使えるクーポンや 給付金など少し補助があれば助かります。定住するきっかけにもなるのではないかと思 います。	せいかつ し えん 生活支援	●中間層の方全員を経済的に支援するような施策を恒常的に行なうことは難しいですが、 社会・経済情勢の急激な変化があった場合等は、国交付金の活用等による各種支援策が 緊急的に実施されることがあります。 令和2年度及び4年度に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う県内経済の立て 直しのため「秋田県プレミアム飲食券」を発行しており、今年度は、物価高騰対策とし て、飲食・小売業などで消費拡大を図るとともに、県民生活への支援につなげるた め、「秋田県プレミアムチケット」の発行を予定しています。
11	はたら かた 働いている方	この意見箱にたどり着けることでもたち、お父さんお母さんがどれだけいるんでしょう。 この意見箱の存在はInstagramで初めて知りましたが、リンクが貼られているわけでもな く、検索するしかありませんでした。 相手目線に立ってひとつひとつ考えていく、その積み重ねだと思います。 ホームページやチラシで届くのはごく僅かになっていることは明らかだと思います が、、、	しゅううち 周知	●御指摘のとおり、近年は若年層を中心に情報収集の方法が大きく変化しており、県公 式サイト「美の国あきたネット」等への掲載やチラシ配布だけでは、子ども・若者に情 報が届きにくくなっています。 子ども・若者に支持されているSNS等の媒体を積極的に活用するなど、時代の変化に 合わせた周知方法の工夫に努めています。
12	はたら かた 働いている方	秋田市から盛岡市まで高速道路を整備するなど、交通網を充実させてほしいです。	こうつう 交通	●国において、快適な走行ができる高規格な道路を実現するため、「盛岡秋田道路」の 整備に向けた調査が進められており、これまでに、仙北市角館の市街地を迂回する「角 館バイパス」が開通するなど、一部区間で整備が行われています。 現在は、角館と田沢湖の間の山岳地域を通る区間の整備に関する検討が行われていると ころであり、県としても、早期事業化に向けて、引き続き要望していきます。

No.	意見を寄せた方 の属性	秋田県への意見の概要	ジャンル	県の対応方針等
13	働いている方	秋田駅から秋田市山王や勝平方面への電車を通すなど、交通網を充実させてほしいです。	交通	<p>●意見の内容を秋田市に伝えます。</p> <p>なお、同地区方面への公共交通については、現在、路線バスが運行されていますので、そちらを積極的に活用いただければと思います。</p>
14	働いている方	ショッピングモールを建設してほしいです。		
15	働いている方	商業施設を増やしてほしいです。	まちづくり	<p>●商業施設については、民間事業者の経営判断に基づいて行われることですので、県から誘致等の活動を行うことは難しいです。</p>